

「雑草魂」 第 6 2 号

2021.1.28(木) 編集責任者：橋山 直記

1 月実力テスト

昨日最後の実力テストの結果を返却しました。実力テストは、県平均が150点（1教科30点）にできるだけ近くなるように作成されています。問題の難易度にもよりますので、上の表の点数だけで簡単に比較はできません。県の平均点から難易度は、No.1 が一番難しく、No.2, No.3, No.4 の順だったようなので、比較的点数がとれやすくなっていたようです。しかし、細かく分析してみた結果、見崎中3年生の成績は、最後の実力テストで向上し、No.3 のテストの時から県平均との差を9点縮めることができました。これは、とてもすごいことで、一般的には、県内全ての生徒が受験モードに入っているため、最後の実力テストでは県平均との差が開きます。それを縮めたというのは、専願受験組をはじめ、みんなが本気になったからです。（3年生のはじめから本気になってたらどうなっただろう・・・）後は、受験を残すのみ！「やればできるは魔法の合言葉」。ここから、さらに、成績向上させていこう！！

【本校の校内平均点】

	国 語	数 学	英 語	社 会	理 科	5 教科
No.1(7月)						
No.2(10月)						
No.3(11月)						
No.4(1月)						

☆祐誠高校入試の感想 Part 4 ☆

入試受けに行った時、とてもきんちょうしていて、作文を書けるか、ちゃんと面接の受け答えをしっかりと出来るか不安でした。でもテストを受ける時にはきんちょうもかなりほぐれてテストは良い点数とるぞ！とっていました。作文を書く時には覚えているかな？とっていて不安でしたが、書き終わった時は全部書いて良かったと安心しました。それから、たくさんの練習をしていた面接はきんちょうしていたけど練習していたおかげで、つまることなくしっかり発言出来た所が一番うれしかったです。先生達から心配された面接、作文も自分なりにベストをつくしたので合格してほしいです。

昨日の西日本新聞記事より

わが人生にはテストは無縁
(福岡県・70才)
 大学入学共通テストは厳しい状況で行われた。みなさん無事に乗り越えられただろうか？振り返れば私はテストを受けたことがほとんどなかった。中学卒業と同時に就職試験を受けて以来、自動車運転免許取得のために受けた程度。何かの資格に挑戦する向上心もなく、のんびんだらりと生きて、まもなく終活だ。
 周囲を見渡せば常に資格試験などに挑み、生き生きと輝いている人が多い。だから世の中は進歩していくのだと思いつつ、私は有終の美を飾る意欲もなく過ごしてきた。
 テストとは無縁のわが人生。使うことなく、のんびんだらりと生かされてきた私の脳みそは持ち主同様、干からびて縮んだままの生涯を閉じるだろう。
 せっかく生まれながら、テストで鍛える努力もしなかった私の脳みそは悔やんでいるだろうか、それとも持ち主同様、てれんぱれん（ぶらぶらと何もしない）人生ならぬ「脳生」を、それもよかるうと笑って楽しんでいるだろうか。

テストを受けることは、きつさや辛さは必ずある。
しかし、本当にそれだけだろうか？